

# 弘法さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org

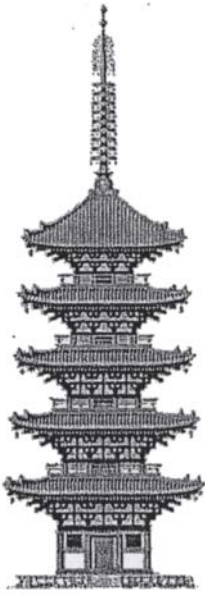
皆さん、こんにちわ。いよいよ春本番ですね。今月は**正御影供(しよ うみえく)**、弘法大師のご命日です。**弘法大師の生涯**をお伝えしている今年のかかわら版。今月は**恵果和尚**との運命的な出会いの復習から始めます。

## ★ 恵果和尚と空海

**延暦二十四年(八〇五年)**、**長安**で三ヶ月間、密教の極意を学んだ**空海**。寄宿していた右街**西明寺(さいみょうじ)**から、**恵果和尚**の左街**青龍時(せいりゅうじ)**まで、毎日往復したそうです。

恵果和尚は、当時一流の宮廷絵師**李真(りしん)**たちに、空海のために**曼荼羅**、**祖師図**などの密教法具を制作させました。

同年**八月**、空海は**結縁灌頂(けち えんかんじょう)**を受け**伝法阿闍梨(でんぽうあじり)**となり、それを見届けるように、恵果和尚は**十二月十五日入寂**。実に運命的な出会いでした。



延暦24年(805)32歳 青龍寺の恵果阿闍梨のもとに入門、胎藏界金剛界灌頂の秘儀を授かる。《覚風寺収蔵》

## ★ 高階遠成の帰国船

一刻も早く密教奥義を日本に伝えたい空海。**留学生(るがくしょう)** 〓 〓 私費留学生の空海は本来二十年間帰国禁止。罰せられることを覚悟のうえで帰国を目指します。しかし、そもそも船がなければ帰国できません。ところが翌年、**桓武天皇**が崩御。

**平城天皇(へいぜいてんのう)**の即位に伴い、元号も改まった**大同元年(八〇六年)**、急遽、判官**高階遠成(たかしなのとまなり)**の船が日本に向かうこととなりました。空海は高階遠成に事情を説明し、運良く乗船を許されました。

## ★ 日本三筆、嵯峨天皇と橘逸勢

帰国した空海は、京に向かう高階遠成に密教法具の目録を委ねます。しかし、留学期間を勝手に短縮したことや、平城天皇が新しい密教に関心を示さなかったことから、**太宰府(九州)** **観世音寺**に足止め。空海**十三歳**の時です。

その後、**和泉国(大阪)** **槇尾山施福寺**に移り、**大同四年(八〇九年)**、**三十六歳**の時によりやく入京が許され、**高雄山神護寺**に滞在します。入京のきっかけは、平城天皇の崩御に伴う**嵯峨天皇**の即位。**嵯峨天皇**の奥方は**橘喜智子**。空海と一緒に入唐した**橘逸勢(たちばなのはやなり)**の従兄弟。空海の達筆を熟知していた橘逸勢。



日本三筆 右より、嵯峨天皇、空海、橘逸勢の筆

そのことは橘喜智子を通じて嵯峨天皇の知るところとなり、書道に通じた嵯峨天皇は早くから空海に一目置いていたと言われています。その嵯峨天皇、橘逸勢、空海の三人は、やがて**日本三筆**と称されます。歴史の偶然は神秘に満ちています。

## ★ 最澄と和気氏と神護寺

ところで、入京後の空海が滞在した神護寺は洛西の北端、高雄山中腹にある古刹。平安京遷都の功臣、**和気(わけ)氏**の氏寺。そして、和気氏は既に名声を得ていた**最澄**の施主(後ろ盾)、言わばスポンサーです。空海と同じ遣唐使船団で入唐した**還学生(げんがくしょう)** 〓 〓 国費留学生の最澄は、空海に先んじて帰国。しかし、密教奥義を極めるに至らず、空海からそれを学びたいと考え、和気氏の氏寺に空海を招きました。

## ★ 大器晩成の空海

**三十三歳**で帰国、**三十六歳**で入京を許され、本格的な活動を開始する空海。当時の寿命を考えると、大器晩成型の人生ですね。日泰寺参道中ほどの**歳弘法**でその頃のお顔をご覧ください。弘法大師生涯絵図を所蔵する**覚鳳寺**、別名**寅薬師**。今月は恵果和尚から結縁灌頂を受ける空海の姿です。

## ★ 高雄山神護時での空海

来月は**三十七歳**で嵯峨天皇が帰依、**三十九歳**で最澄らに結縁灌頂を授ける神護寺での空海の活躍をお伝えします。乞う、ご期待。